

横浜国立大学グローバルCOEプログラム
「アジア視点の国際生態リスクマネジメント」シンポジウム

オーロラ博士が見た地球温暖化 —北極圏・オーロラ・地球温暖化—

● 講師 ●

赤祖父俊一 氏 (米アラスカ大学名誉教授)

伊藤 公紀 氏 (横浜国立大学大学院教授)

日時 **2009年9月8日(火曜日) 13:00～16:00** (受付開始: 12:30)

場所 **神奈川県民ホール 小ホール**
みなとみらい線「日本大通り」駅下車 3番出口より徒歩6分
http://www.kanagawa-kenminhall.com/kh_access_f.html参照

入 場 ● 無料 (定員250名: 申込先着順)
申し込み・問い合わせ ● 【参加希望者名】を添えて、下記 FAXまたはE-mailアドレスにお申し込み下さい。
〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-7 横浜国立大学環境情報研究院
グローバルCOE(生態リスク)プログラム (担当: 茂岡)
TEL/FAX: 045-339-4497 E-mail: er-coe1@ynu.ac.jp

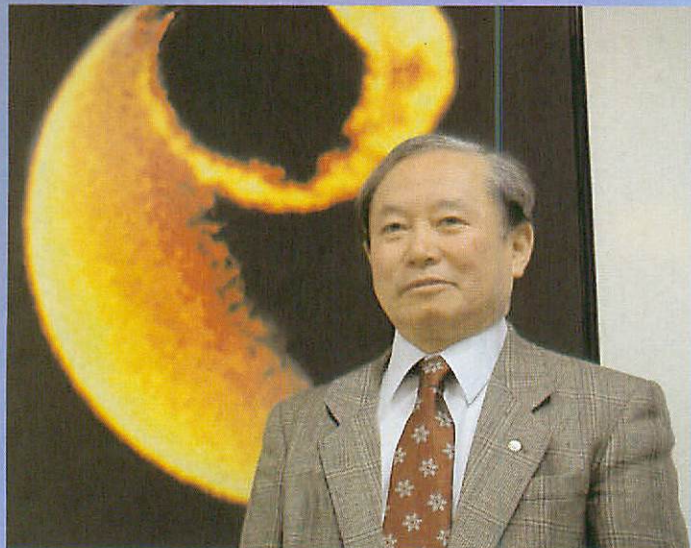


主催: 横浜国立大学グローバルCOE「アジア視点の国際生態リスクマネジメント」
協賛: コープかながわ、横浜国立大学生生活協同組合 (環境保全活動に関するパネル展示あり)

※お電話での申し込みは、生活協同組合コープかながわ TEL:045-471-5615 (担当: 廣田) までお願いします。

米アラスカ大学名誉教授 赤祖父 俊一 氏

前アラスカ大学国際北極圏研究センター長・創立者。オーロラ研究で世界的に著名、アメリカ地球物理学会ジョン・フレミング賞や日本学士院賞などを受賞。著書に『オーロラ-その謎と魅力』（岩波新書2002年）、『北極圏のサイエンス』（誠文堂新光社2006年）、『正しく知る地球温暖化』（誠文堂新光社2008年）など。



横浜国立大学大学院教授 伊藤 公紀 氏

物理化学・環境計測科学が専門。電気化学会進歩賞などを受賞。著書に『地球温暖化-埋まってきたジグソーパズル』（日本評論社2003年）、『生態環境リスクマネジメントの基礎』（共著、オーム社2007年）、『地球温暖化のウソとワナ』（共著、KKベストセラーズ2008年）など。



開催趣旨

オーロラは、地球上でもっとも神秘的な自然現象とも言われます。このシンポジウムは、オーロラ研究のパイオニアである赤祖父俊一氏がオーロラと北極圏について話される貴重な機会です。

北極圏では、オーロラのほかにも氷河や永久凍土など、私たちの日常とは異なった現象が多く見られます。また、気象変動が敏感に現れるとも言われます。そこで今回、赤祖父氏からは最近の北極圏でもっとも大きな話題である地球温暖化問題について、現場の目からご報告いただきます。これに関連して横浜国立大学の伊藤公紀氏が、地球温暖化問題の最近の動向、特に、オーロラにも関係の深い太陽活動の影響についての最新の知見などを話されます。

プログラム

13時00分～13時05分	開会あいさつ
13時05分～13時50分	「北極圏・オーロラ」 赤祖父俊一氏
13時50分～14時00分	質疑応答
14時00分～14時10分	休憩
14時10分～14時55分	「太陽と気候変動」 伊藤公紀氏
14時55分～15時40分	「地球温暖化: 本当は何がおきているのか」 赤祖父俊一氏
15時40分～16時00分	質疑応答
	閉会